

經濟部 中華民国 台湾投資通信

Vol. 312
Nov 2024

賴清德總統が石破茂新首相の就任を祝賀、台日の友情が引き続き深化することを期待

石破茂氏が日本の新首相に当選、賴清德總統は衷心より祝賀。また、石破新首相率いる新政府の国政円滑、国家の發展興隆を祈念。

經濟大臣が訪日、木村敬熊本県知事を表敬訪問し、台積電熊本工場を視察

郭智輝經濟大臣は2024年9月に代表団を率いて日本に渡航、台日科学技術協力の重要拠点熊本県を訪問。

台日經濟貿易の動向

台日間の投資と事例、技術協力、産業連携。

近々の台日經濟貿易活動

第39回ネプコン ジャパンエレクトロニクス開発・実装展、AUTOMOTIVE WORLD 2025、2025年日本電子部品市場開拓団。

最近のトピック

賴清德總統が石破茂新首相に祝意、 台日の友情が引き続き深化することを期待

日本は10月1日に臨時国会を召集、自由民主党新総裁の石破茂衆議院議員を第102代首相に選出しました。總統府の郭雅慧報道官は、賴清德總統は台湾政府と台湾国民を代表して石破茂新首相に心からの祝意を表し、新首相率いる新政府が国政を円滑に進め、国家が發展興隆することを祈念する、と述べました。

台湾と日本は長期にわたる強固な相互援助パートナーであり、両国民の友情は相互支援という礎の上に築かれています。過去においては新型コロナウイルス感染症流行の際、日本は台湾に数百万回分のワクチンを無償供与し、感染症がもたらした困難

を共同で克服しました。このほか、今年4月の花蓮地震の時には、日本国民は台湾が苦境を克服するのを支援するために気前よく寄付しました。この相互扶助の友情は台湾の人々の心に深く刻まれています。

賴清德總統はまた、退任した岸田文雄前首相が任期中、我が国を確固として支持し、台湾海峡の平和と安定、自由で開かれたインド太平洋というビジョンを重視することを継続的に表明したことに対して感謝の意を示しました。賴總統はまた、将来も台日の友情が深化し続け、地域の平和と繁栄、そして安定に共同して貢献することに期待を寄せました。

經濟大臣が訪日、木村敬熊本県知事を 表敬訪問し、台積電熊本工場を視察

經濟部郭智輝大臣は2024年9月に代表団を率いて訪日、一行は台日科学技術協力の重要拠点である熊本県を訪れました。台湾積体電路製造株式会社（台積電、TSMC）熊本工場（JASM）を視察するほか、熊本県の木村敬知事を表敬訪問、地元での半導体サプライヤーの投資進出状況、特にその後の交通計画や人材育成という重要な議題について意見を交換、台湾企業が日本への投資に際しては現地の支援が得られること、台湾と日本の半導体サプライチェーンの強靱な協力を引き続き深めることを希望しました。

郭大臣は、熊本県庁の手配のもと、熊本周辺に足を伸ばし現在の工業地区の開発状況を視察、後続のサプライヤーが進出したり、将来台湾企業が發展するために、関連インフラを整備することを望みました。郭大臣は訪日期间中、海外での工業団地開発の経験を持つ大手商社を訪ね、海外でのサイエンスパーク共同開発の可能性について討論しました。

台日經濟貿易の動向

台日双方の投資概況と事例

台湾と日本の二国間投資に関して、経済省投資審議司の資料によりますと、2024年10月現在、日本企業による対台湾投資は12,119件、累計金額は268億米ドルです。日本は台湾にとり第4の投資元で、主要な投資先は集積回路、半導体製造などの機械、ウェハー、電子工業です。これは日本の企業が台湾市場と産業チェーンの優位性を相当程度重視していることを示しています。台湾の対日投資件数は合計1,045件に上り、累計金額は176億ドルです。主な投資先は、集積回路、半導体パッケージング及びテスト産業で、これは台湾の半導体企業が継続的に投資し、日本のサプライチェーンとの連携を深めていることによるものです。

経済省は、今年初めて、台湾の最も代表的な国際展示会「セミコン台湾(SEMICON Taiwan)」とセットで「2024年台湾ビジネスアライアンス及び市場動向フォーラム(2024 Taiwan Business Alliance and Market Trend Forum)」を開催しました。AIが技術革新の応用をリードするという大きな動きのもと、さらに多くの外国メーカーが台湾の優位性を目のあたりにし、台湾の台湾企業と協力し、台湾というAIテクノロジーの島で新たなビジネスチャンス共有していただけることを期待しました。

このフォーラムには21社が参加、将来の投資額は約1,150億台湾ドルに達しました。郭大臣は代表的な企業12社と合計約460億台湾ドルの基本合意書

(LOI)に署名しました。署名した企業数は日本が4社で最も多く、産業は半導体材料、生活化学品、不動産開発、金属リサイクル・製造など多岐にわたっています。地政学的な情勢変化に国際的な関心が集まるなか、今回署名したLOI企業は具体的な投資行動として台湾を選択しました。このことは、国際的な企業が台湾の前途を信頼していることを示しています。例えば、世界を代表する研磨パッドメーカーである日系の台湾富士紡精密材料工業株式会社は新竹に研究開発センターを設立する予定です。日本の三大ガラスメーカーの一つであるセントラル硝子株式会社は初めて台湾に工場を建設し、日本の技術を導入して半導体の特殊な製造プロセスで使用する高純度混合ガスを製造する運びです。世界的に有名な貴金属リサイクル・精錬会社である田中貴金属工業株式会社は、台湾の半導体および電子部品産業の「金」など貴金属原材料に対する需要が年々増加傾向にあることから楽観的で、新竹県湖口に新工場を建設する計画です。JR東日本グループの台湾捷爾東事業開発株式会社はJR東日本ホテル台北やジェクサージム南京復興店への投資を継続しますし、その後も新しいタイプのホテルやジムの拡張計画を進めていきます。

台日技術協力

台日間の技術協力と人材交流を促進するため、日本の太陽誘電株式会社の代表者は2024年8月1日に来台し、財団法人工業技術研究院(ITRI)と協力協定(Master Collaboration Agreement)を締結しました。今回の協力協定締結の主な目的は、組織間協力を展開することで、今後は分野を超えた技術協力、人材交流、オープン実験分野の共創など

多方面で協力していくことです。同時に、太陽誘電と工業技術研究院の関係部門がコンサルティングサービス、3Dパッケージング、内蔵用コンデンサ、微細穴加工などの技術に関して交流会の開催を手配することで、両者の協力を進めていけることを期待しています。

台日産業協力の発展

郭智輝経済大臣は2024年8月30日に台湾日本研究院開催の「経済安全保障及び台日科学技術協力の九州経験」フォーラムに出席、講演を行ったほか、日本企業の対台湾投資あるいは台湾での研究開発機構の設立を奨励し、さらに台湾と日本の技術協力とサプライチェーンパートナーシップをより深化させるため、日本のバイオテクノロジー企業と半導体会社を訪問しました。郭大臣は「台日科学技術対話」のなかで、半導体をはじめとする「5大信頼産業」の成長を推進する我が国政府の抱負と、AIを応用するビジネスチャンスが熟するにつれ、サーバーや半導体チップの需要も増加し、台日経済貿易パ

ートナー関係を深める機運をもたらすであろうことを強調しました。郭大臣は、頼総統が掲げた「健康な台湾」という国家ビジョンを推し進めるため、今回の訪日を利用して、再生医療、エクソソームや幹細胞分野における日本のリーディングメーカーを訪れ、バイオテクノロジー関連の日本企業に対して台湾への投資と技術研究協力を強化するよう呼びかけました。このほか、「5大信頼産業」の発展を促すため、大手半導体サプライチェーン企業を訪問、台湾での投資を拡大し、台日半導体産業間の協力を深めることを奨励しました。

インフォメーション・コーナー

第39回ネプコン ジャパン エレクトロニクス開発・実装展

開催期間：2025年1月22日(水)～1月24日(金)

開催場所：東京国際展示場（東京ビッグサイト）東ホール

活動内容：エレクトロニクスの研究開発、製造、パッケージング技術の総合展示会です。この展示会は、インターネプコン ジャパン エレクトロニクス製造・実装展、エレクトロテスト ジャパン エレクトロニクス検査・試験・測定展、プリント配線板EXPO(PWB2025)、電子部品・材料EXPO、半導体・センサ パッケージング展 半導体後工程の専門展、微細加工EXPO、パワーデバイス&モジュールEXPO、の7つの専門展示会から構成されます。アジアを代表するエレクトロニクス産業総合展示会です。

参加募集：台湾区電機電子工業同業公会

活動情報：<https://www.teema.org.tw/exhibition-detail.aspx?inford=45407>

AUTOMOTIVE WORLD 2025(オートモーティブ ワールド)

開催時間：2025年1月22日(水)～1月24日(金)

開催場所：東京国際展示場（東京ビッグサイト）東ホール

活動内容：AUTOMOTIVE JAPAN 2025(オートモーティブ ワールド)は、アジア最大で、国際カーエレクトロニクス技術展(カーエレJAPAN)、EV・HV・FCV技術展(EV JAPAN)、コネクティッド・カーEXPO、自動車部品&加工EXPO(カーメカJAPAN)、自動運転EXPO、Maas EXPO 統合型モビリティサービス開発・活用展、SDV EXPO Software Defined Vehicle Expo 車載ソフトウェア開発展、クルマのサステナブル技術展(SuM-TEC)の8展示会から構成されます。ネプコン ジャパンと同時に開催されるこの展示会は、日本最大にして象徴的な自動車産業展示会です。

参加募集：台湾区模具工業同業公会

活動情報：<https://www.tmdia.org.tw/Exhibitions/ExhibitionDetail/154>

2025年日本電子部品市場開拓団

活動期間：2025年2月17日(月)～2月21日(金)

活動場所：東京・大阪

活動内容：世界的なデジタルトランスフォーメーションと人工知能(AI)技術の急速な発展、新型コロナウイルス感染症流行後のグローバルサプライチェーンの再編にともない、日本や世界各国は自国のサプライチェーンを積極的に発展させるとともに海外の半導体や電子情報通信産業との協力を求めています。日本は我が国にとり第4位の電子部品輸出先であるにとどまらず、世界第4位の電気自動車市場でもあり、台湾の電子部品企業にとっては軽視できない重要な市場です。日本におけるスマート製造分野関連のビジネスチャンスを掴むために、財団法人中華民国対外貿易発展協会は来年(2025年)も続けて日本市場開拓団を組織し、台湾の企業が日本の顧客との関係を深め、より多くの協力機会を得られるよう支援していきます。

参加募集：経済省国際貿易署

財団法人中華民国対外貿易発展協会

活動情報：<https://events.taiwantrade.com/page/EBS/ElectronicsMissionJP2025>

投資相談窓口

投資台湾事務所

100031 台北市中正区愛国東路82号1F

+886-2-2311-2031

經濟部投資促進司

100031 台北市中正区愛国東路82号3F

+886-2-2389-2111(内線:218)

InvesTaiwan:



<https://investtaiwan.nat.gov.tw/homePage?lang=jpn>